FREE THE CHILDREN

International Day for the Elimination of Racial Discrimination

国際人種差別撤廃デー

3/21

1960年のこの日、南アフリカのシャープビルで人種差別に反対するデモを行う人々へ警察が発砲、死者69人、負傷者180人以上を出す「シャープビル虐殺事件」という悲惨な事件が起きました。

これをきっかけに、南アフリカだけではなく、国際社会全体が人種差別撤廃に向けた動きを加速させ、1965年12月21日に「あらゆる形態の人種差別撤廃に関する国際条約（通称：人種差別撤廃条約）」が国連で採択されました。そして、翌年の国連総会で「シャープビル虐殺事件」が起きた3月21日を「国際人種差別撤廃デー」とすることが制定されました。

人種差別とは

上記の「人種差別撤廃条約」の第1条では、人種差別を以下のように定義しています。

人種、皮膚の色、世系又は民族的若しくは種族的出身に基づくあらゆる区別、排除、制限又は優先であって、政治的、経済的、社会的、文化的その他のあらゆる公的生活の分野における平等の立場での人権及び基本的自由を認識し、享有し又は行使することを妨げ又は害する目的又は効果を有するもの

10 人や国の不平等をなくそう

人種の違いに優劣・良し悪しはない

生物学的に見れば、私たち皆「人間（ホモ＝サピエンス）」という同じ種です。肌・髪の色、体つきなど、私たちが一般的に「人種の違い」と捉えている人間の外見的特徴は、住む場所、気候・食べるもの・考え方などの違いによってそれぞれ異なる適応・進化を果たした結果であり、それらに優劣・良し悪しなどはありません。

しかし、この日が制定されてから半世紀以上経過した2020年代現在でも、日本を含む多くの国でヘイトスピーチが繰り返されていたり、著名人や政治家の人種差別発言・行為が度々問題になったり、新型コロナウイルスに関する人種差別（通称「コロナ差別」）やヘイトクライムなどが新たに起こるようになったりするなど、人種差別問題は形を変えながら未だ根深く残っています。

ワーク：人種差別をなくすためにできることを考えて書き出してみよう。
※内容・規模・自分ができるか否かは問いません。

参考・引用
・外務省ウェブサイト「あらゆる形態の人種差別の撤廃に関する国際条約」 https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/jinshu/conv_j.html

もっと国際デー！

関連情報を調べてアクションをおこしてみよう！

FTCJはあなたの好きなこと・特技を活かした国際協力をおすすめしています。 あなただからこそできる国際協力を一緒に探しませんか？全国のメンバーが様々なアクションを起こしています。アクションのヒントはコチラで検索！

FTCJ 活動ヒント 検索

©認定NPO法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン